

平成31年度 科目ナンバリング分類表（学部と言語教育科目および大学院の専攻共通科目[言語教育科目系]）

大分類 LA 言語教育科目					大分類 LA 専攻共通科目の言語教育科目系					大分類 LA 専攻共通科目の言語教育科目系					
学士課程 4年					修士課程 2年					博士課程 3年					
3					3					3					
中分類名称コード	小分類名称コード	1000		2000		3000		4000		5000		6000		7000	
1. 英語	1. インターアクション重視	Interactive English A【1】	Interactive English B【1】							Presentation Strategies【2】	Presentation Strategies【2】				
	2. インプット重視		Academic English【2】							Academic Reading【2】	Academic Reading【2】				学術英語研究【1】
	3. 外部試験対応	Career English Basic【2】	Career English Basic【2】	Career English Intermediate【2】	Career English Intermediate【2】					TOEIC受験集中対策【2】	TOEIC受験集中対策【2】				
	4. 実践・応用			Active English CLIL【1】	Active English CLIL【1】						Content and Language Integrated Learning I【1】				
2. ドイツ語		ドイツ語初級基礎A【4】	ドイツ語初級基礎B【4】	ドイツ語中級A【4】	ドイツ語中級B【4】										
		ドイツ語初級演習A【4】	ドイツ語初級演習B【4】	ドイツ語上級A【4】	ドイツ語上級B【4】										
3. フランス語		フランス語初級基礎A【4】	フランス語初級基礎B【4】	フランス語中級A【4】	フランス語中級B【4】										
		フランス語初級演習A【4】	フランス語初級演習B【4】	フランス語上級A【4】	フランス語上級B【4】										
4. 中国語		中国語初級基礎A【4】	中国語初級基礎B【4】	中国語中級A【4】	中国語中級B【4】										
		中国語初級演習A【4】	中国語初級演習B【4】												
9. 日本語		日本語コミュニケーションⅢ【2】	日本語コミュニケーションⅠ【2】	日本語Ⅰ【2】	日本語Ⅱ【2】							日本語コミュニケーションⅢ【2】	日本語コミュニケーションⅠ【2】	日本語コミュニケーションⅢ【2】	日本語コミュニケーションⅠ【2】
		日本語コミュニケーションⅣ【2】	日本語コミュニケーションⅡ【2】	日本語Ⅲ【2】	日本語Ⅳ【2】							日本語コミュニケーションⅣ【2】	日本語コミュニケーションⅡ【2】	日本語コミュニケーションⅣ【2】	日本語コミュニケーションⅡ【2】
		日本語コミュニケーションⅤ【2】	日本語コミュニケーションⅥ【2】	日本語Ⅴ【2】	日本語Ⅵ【2】							日本語コミュニケーションⅤ【2】	日本語コミュニケーションⅥ【2】	日本語コミュニケーションⅤ【2】	日本語コミュニケーションⅥ【2】
		日本語コミュニケーションⅦ【2】	日本語コミュニケーションⅧ【2】	日本語Ⅶ【2】	日本語Ⅷ【2】							日本語コミュニケーションⅦ【2】	日本語コミュニケーションⅧ【2】	日本語コミュニケーションⅦ【2】	日本語コミュニケーションⅧ【2】
		日本語コミュニケーションⅩ【2】	日本語コミュニケーションⅧ【2】									日本語コミュニケーションⅩ【2】	日本語コミュニケーションⅧ【2】	日本語コミュニケーションⅩ【2】	日本語コミュニケーションⅧ【2】
		日本語コミュニケーションⅪ【2】	日本語コミュニケーションⅨ【2】									日本語コミュニケーションⅪ【2】	日本語コミュニケーションⅨ【2】	日本語コミュニケーションⅪ【2】	日本語コミュニケーションⅨ【2】
		日本語Ⅰ【2】	日本語Ⅱ【2】									日本語初級Ⅰ【2】	日本語初級Ⅱ【2】	日本語初級Ⅰ【2】	日本語初級Ⅱ【2】

- 留意事項 1. 学部の日本語コミュニケーションⅠ～Ⅹについては、補習科目である。
2. 下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。

※【】中の数字は、言語コードの案を示します。（大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。）

- 0: 日本語で行う授業
1: 英語で行う授業
2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業（状況に応じて使用言語を変更する）
3: 英語以外の外国語で行う授業
4: その他（例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など）

		大分類 Ⅱ 人間教養科目				大分類 Ⅲ 専攻共通科目の人文系・高等教養セミナー、自然科学、KIT大学院科目など				大分類 Ⅳ 専攻共通科目			
		学士課程 4年				修士課程 2年				博士課程 3年			
		3				3				3			
中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000					
1. 工芸科学教養科目	1. 工芸科学入門	工芸科学基礎 [0] キャリア教育基礎 [0] 国際理解[0]	KITスタンダード [0] 学習・キャリア戦略論 [0]										
	2. 科学技術と環境・倫理	地球環境論 [0] 環境問題と持続可能な社会 [0] 生命倫理と環境倫理[0] 現代科学と倫理[0] エネルギー科学 [0]	環境と法 [0] 情報セキュリティと情報倫理 [0] テクノロジー論[0]	環境マネジメント [0]									
	3. ものづくりと技術戦略	ものづくりと生命物質科学 [0] ものづくりと設計工学 [0] ものづくりとデザイン科学 [0] 伝統産業概論Ⅰ [0] 実践ユニバーサルデザイン [0]	ものづくりと生命物質科学 [0] ものづくりと設計工学 [0] ものづくりとデザイン科学 [0] ものづくり加工実習 [0] 伝統産業概論Ⅱ [0]						ジェロントロジー入門 (超高齢社会のユニバーサルデザイン)[0]	「ものづくり」総合プロデュース論 [0] プロジェクト・マネジメント [1] IGP知的財産権論 [1] 実践プロセスデザインⅡ [0] 産業創出論 [1] 実践プロセスデザインⅠ [0]	IGP知的財産権特論 [1] プロジェクト・マネジメント特論 [1] 産業創出特論 [1] ベンチャーラボ特別演習 [0]		
	4. リーダーシップと経営戦略	リーダーシップ基礎Ⅰ-地域連携プロジェクト [0] 知的財産経営論[0] リーダーシップ実践Ⅰ [0] リーダーシップ実践Ⅱ [0]	リーダーシップ基礎Ⅱ [0]	ベンチャー企業経営学[0] 国際連携プロジェクトⅠ [0] 国際連携プロジェクトⅡ [0]						テックリーダー演習Ⅰ:起業工学 [0] テックリーダー演習Ⅱ [0]			
	5. 京の伝統文化と先端	京のサステナブルデザイン [0] 文化財学 [0] 京の文化行政 [0] 京の産業技術史 [0] 京の生活文化史 [0] 京都の文学Ⅰ [0] 京都の歴史Ⅰ [0] 現代京都論 [0] 京都の自然と森林 [0] 近代京都と三大学 [0] 京野英を栽培する(リベラルアーツ・ゼミナル)[0]	京の意匠 [0] 京の伝統 伝統産業の先進的ものづくり [0] 京の伝統工芸一知と美 [2] 京の伝統工芸一知と美 [2] 英語で京都 [0]	京のまち [0] 英語で京都 [0]						京の伝統工芸一知 美 技 (課題解決セミナー1)[0]	伝統産業特論Ⅰ [2] 伝統産業特論Ⅱ [2]		
2. 基本教養科目	1. 社会科学の基礎	人文地理学Ⅰ [0] 社会学Ⅰ [0] 法学 [0] 経済学 [0] 国際政治 [0]	人文地理学Ⅱ [0] 社会学Ⅱ [0] 政治学 [0] 経済学入門 [0] 憲法 [0]										
	2. 人間と社会	心理学 [0] 現代教育論 [0] 現代社会とジェンダー [0] 発達心理学 [0] 食環境をめぐる国際社会と日本α[0]	生活と経済 [0] 現代社会と心 [0] 医史学 [0]						高等教養セミナー1 [0] 高等教養セミナー2 [0] 高等教養セミナー6 [0]	高等教養セミナー3 [0] 高等教養セミナー5 [0]			
	3. 人間と歴史	日本史 [0] アジアの歴史と文化 [0]	東西文化交流史 [0] 歴史学 [0] ヨーロッパの歴史と文化[0]										
	4. 文化・芸術	美と芸術 [0] 比較宗教学 [0] 西洋文学論 [0] 日本文学Ⅰ [0] 日本近代精神史[0] フランス語圏の文化とジャポニスム[0] 映画で学ぶ英語と文化[0]	哲学 [0] 宗教と文化 [0] 西洋文化論 [0] 日本現代文学 [0] ラテン語 [0] 文芸創作論 [0] 日本文学Ⅱ [0] 映画で学ぶドイツ語と文化[0]	舞台芸術論 [0]					制作思想 [2] 宗教文化論 [2] 高等教養セミナー9 [0] 高等教養セミナー13 [0] 高等教養セミナー15 [0] 高等教養セミナー14 [0]	比較文学特論 [0] 高等教養セミナー7 [0] 高等教養セミナー8 [0] 高等教養セミナー10 [0] 高等教養セミナー11 [0] 高等教養セミナー12 [0] 高等教養講義 [0]	言語文化情報学 [0] 現代思想論 [2]		
	5. 自然科学の基礎	物理学Ⅰ [0] 化学概論Ⅰ [0] 生物学概論Ⅰ [0] 生命科学講話 [0]	化学概論Ⅱ [0] 生物学概論Ⅱ [0] 地球の科学 [0] 医学概論[0]										
	6. 人間と自然・科学	人と自然と数学α [0] 食と健康の科学 [0] 生物学的人間学 [0]	人と自然と数学β [0] 人と自然と物理学 [0] 科学史 [0] 意外と知らない植物の世界 [0]	時間生物学特論 [0]									
	7. リベラルアーツ・ゼミナル	現代社会に学ぶ開うか・書く力(リベラルアーツ・ゼミナル) [0] レーザーで測る、創る、楽しむ(リベラルアーツ・ゼミナル) [0] 感性の実践哲学(リベラルアーツ・ゼミナル) [0] 現代イスラーム世界の文化と社会(リベラルアーツ・ゼミナル) [0]	社会科学の学び方(リベラルアーツ・ゼミナル) [0] 世界はいま(リベラルアーツ・ゼミナル) [0] 製品の機能から科学を学ぶ(リベラルアーツ・ゼミナル) [0] 科学と思想(リベラルアーツ・ゼミナル) [0] 経営哲学(リベラルアーツ・ゼミナル) [0]										
3. 体の科学	スポーツ科学Ⅰ [0] キャンパスヘルス概論 [0]	スポーツ科学Ⅱ [0]	生体行動科学 [0] 生涯スポーツ[0]	健康体力科学 [0] 生涯スポーツ[0]	(生体機能論) (スポーツバイオメカニクス)	(運動機能学) (卒業研究(応生))	生体行動科学特論 [2] バイオメカニクス特論 [2]	応用運動生理学 [2]					

留意事項 1. 修士課程の専攻共通科目である「高等教養セミナー」については、H27年度シラバスにおいて人文・社会・自然分野に分類できるもののみ掲載した。(掲載していないものは、高等教養セミナー-1, 2, 6, 7, 8, 9の5科目。)
2. 下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開設しているもの。
3. 括弧書きの科目は他課程専門科目あるいは専門基礎科目であり、それぞれA/B(応用生物学課程専門科目の大分類コード)またはS/B(専門基礎科目の大分類コード)から始まるナンバリングのいずれかが適用される。

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成31年度 科目ナンバリング分類表 (学部の学域専門基礎科目および大学院の専攻共通科目[数学系、繊維系])

大分類 SB 専門導入科目・学域専門基礎科目

学士課程 4年

大分類 SB 専攻共通科目の数学系・自然科学系・インターンシップ系・KIT大学院科目

修士課程 2年

大分類 SB 専攻共通科目

博士課程 3年

中分類名称 コード	小分類名称 コード	3				3		3				
		1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000				
1. 数学	1. 代数学		線形代数学Ⅰ【0】	線形代数学Ⅱ【0】			数理応用代数【0】					
	2. 幾何学				応用幾何【0】		数理応用幾何【0】					
	3. 解析学		基礎解析Ⅰ【0】 解析学Ⅰ【0】	基礎解析Ⅱ【0】 解析学Ⅱ【0】	応用解析【0】 応用数理【0】	数理解析【0】		数理応用解析【0】		解析学セミナー【0】	数理応用解析【0】	
	4. 統計数学			統計数理【0】				数理応用統計【0】		確率論セミナー【2】	数理応用統計【0】	
	5. 分野横断型科目			数学演習Ⅰ【0】	数学演習Ⅱ【0】			数理応用演習【0】		数理応用演習【0】 数理科学特論Ⅰ【0】 数理科学特論Ⅱ【0】 数理科学特論Ⅲ【0】		数理解析学【2】 応用解析学【2】
2. 物理学	1. 力学		物理学Ⅰ【0】 物理学Ⅰ演習【0】	力学【0】								
	2. 電磁気学			物理学Ⅱ【0】 物理学Ⅱ演習【0】								
	3. 統計熱力学				統計熱力学【0】							
	4. 量子力学					量子力学【0】						
	5. 実験・実習		物理学実験法及び基礎実験【0】 物理学基礎実験【0】	物理学実験法及び基礎実験【0】 物理学基礎実験【0】								
3. 化学			化学Ⅰ【0】 物理化学Ⅰ【0】 無機化学Ⅰ【0】 有機化学Ⅰ【0】 化学基礎実験【0】 物理化学演習【0】	化学Ⅱ【0】 物理化学Ⅱ【0】 有機化学Ⅱ【0】 化学基礎実験【0】 分析化学【0】 物理化学Ⅲ【0】 高分子化学【0】	環境化学【0】 化学工学Ⅰ【0】					環境化学特論【2】		
			生物学Ⅰ【0】 生物化学Ⅰ【0】 生物学基礎実験A【0】	生物学Ⅱ【0】 生物化学Ⅱ【0】 資源生物と環境【0】								
			情報リテラシー概論【0】	情報処理演習【0】	学術国際情報【0】	先端情報工学概論【0】						
					繊維プロセス工学【0】 クロウジングサイエンス【0】 繊維科学実験【0】 複合材料ものづくり実験【0】 サステイナブルマテリアル【0】 染色科学【0】	繊維ナノ構造学【0】 繊維生産流通システム概論【0】 繊維科学概論【0】 複合材料科学【0】 繊維科学基礎【0】 生物繊維材料学【0】 先端複合材料学【0】 複合材料基礎実験【0】			繊維系合同研修【0】	繊維系資格概論【0】		
			アントレプレナーシップ概論【0】 知的財産概論Ⅰ【0】 特許法・実用新案法Ⅰ【0】 民法概論Ⅰ【0】	知的財産概論Ⅱ【0】 特許法・実用新案法Ⅱ【0】 民法概論Ⅱ【0】		知的財産演習【0】						
6. 繊維系			絵画実習【0】	新先端ファイブ科学【0】 図学【0】	インターンシップA【0】 インターンシップB【0】 地学Ⅰ【0】 地学Ⅱ【0】 地学実験【0】 生体機能論【0】 スポーツバイオメカニクス【0】							
									インターンシップⅠ【0】 インターンシップⅡ【0】 グローバルインターンシップⅠ【1】 グローバルインターンシップⅡ【1】 HDMIインターンシップ【1】 グローバルイノベーションプログラムⅡ【2】 国際協働プロジェクト【2】 デザインリサーチ手論【2】 産学協働プロジェクトⅠ【2】	dGEPセッション(M)Ⅰ【2】 dGEPセッション(M)Ⅱ【2】 dGEPセッション(M)Ⅲ【2】 dGEPセッション(M)Ⅳ【2】		視知覚理論【2】 dGEPセッション(D)Ⅰ【2】 dGEPセッション(D)Ⅱ【2】 dGEPセッション(D)Ⅲ【2】 dGEPセッション(D)Ⅳ【2】 HDMIインターンシップアドバンス【1】
7. 知的財産												
0. その他												

留意事項 1. 下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。
 2. 網掛けを付した科目については、大学院と学部同時に開講しているもの。
 3. すべての課程・専攻に配当されている科目についてまとめたものであるため、所属する課程・専攻によって履修できない科目もある。
 履修可能かどうかは、教科課程表の履修区分を参照のこと。

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業 (状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他 (例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成31年度 科目ナンバリング分類表 (電子システム工学課程, 電子システム工学専攻)

大分類 EL 電子システム工学課程

大分類 EL 電子システム工学専攻

大分類 EL 電子システム工学専攻

		学士課程 4年				修士課程 2年		博士課程 3年	
		3		3		3		3	
中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000	
1. 総合科目	1. 実験・実習・セミナー	電子システム工学セミナーⅠ【0】 電子システム工学セミナーⅡ【0】 地域課題導入セミナー【0】	電子システム工学セミナーⅢ【0】	電子システム工学基礎実験【0】	電子システム工学実験及び設計Ⅰ【0】 地域創生課題セミナーⅡ【0】 ものづくりインターンシップⅡ【0】 ものづくりインターンシップⅢ【0】	電子システム工学実験及び設計Ⅱ【0】 地域創生課題セミナーⅠ【0】 ものづくりインターンシップⅠ【0】			グローバルインターンシップⅢ【2】 グローバルインターンシップⅣ【2】 電子システム工学インターンシップⅢ【0】 電子システム工学インターンシップⅣ【0】 電子システム工学特別演習Ⅰ【0】 電子システム工学特別演習Ⅱ【0】 イノベーションプロジェクト【2】
	2. 講義							特別課題実験及び演習Ⅰ【0】 特別課題実験及び演習Ⅱ【0】 電子システム工学インターンシップⅠ【0】 電子システム工学インターンシップⅡ【0】 電子システム工学特別実験及び演習Ⅰ【0】 国際インターンシップ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ【2】	
	3. 研究					卒業研究【0】 卒業プロジェクト【0】		特別研究【2】	研究指導【2】
2. 材料物性・デバイス	1. 材料物性		電子物性基礎論【0】	電子材料工学【0】			電子物性特論A【2】 ナノ構造工学【2】 統計物理学【2】	電子物性特論B【2】 ナノ構造科学【2】 知能性材料システム工学【2】 電子系・電子凝縮系の物理【2】	電子物性論【2】 ナノ構造論【2】 光材料工学【2】 電子材料論【2】
	2. デバイス			電子デバイス【0】 センサ工学【0】	集積化プロセス・デバイス工学【0】		マイクロデバイス工学【2】 電子デバイス特論【2】 エネルギー変換デバイス【2】	電子デバイス論【2】 機能性薄膜応用デバイス工学【2】	電子デバイス論【2】 パワー半導体デバイス論【2】 機能性薄膜応用デバイス工学【2】
3. 電磁気エネルギー	1. 数学		電子システム数理基礎論【0】						
	2. 電磁気・電磁波		電磁気学および演習ⅠA【0】 電磁気学および演習ⅠB【0】	電磁気学および演習ⅡA【0】 電磁気学および演習ⅡB【0】	電磁気学Ⅲ【0】 電磁波工学【0】		電磁波工学特論A【2】 電磁波工学特論B【2】		電磁機能構造設計理論【2】
	3. 光エレクトロニクス		光学基礎【0】	フォトニクスⅠ【0】 フォトニクスⅡ【0】		光電子デバイス工学【2】 応用光学【2】	光波工学【2】	情報光学【2】 集積フォトニクス【2】	
	4. エネルギー				プラズマ工学【0】 電気エネルギー工学【0】		プラズマ解析学【2】	プラズマ物性工学【2】 電磁エネルギー科学【2】	プラズマ計測技術【2】 通信信号処理【2】 情報伝送論【2】
4. 通信・制御	1. 信号処理・通信		デジタル信号処理【0】		通信システム工学【0】		通信工学特論【2】		
	2. 制御			制御工学【0】 システム最適化【0】					
5. 回路	1. 電気回路		電気回路【0】 電気回路演習【0】	回路解析【0】 回路解析演習【0】	高周波回路【0】				
	2. 電子回路		論理設計【0】	デジタル電子回路【0】	アナログ電子回路【0】 電子回路演習【0】	集積回路工学【0】	集積回路工学特論【2】	集積システム工学【2】	
6. 情報	1. 計算機・ネットワーク				情報ネットワーク【0】 コンピュータシステム【0】			エネルギーインターネット設計論【2】	
	2. プログラミング		プログラミング演習Ⅰ【0】 プログラミング演習Ⅱ【0】			計算モデル論【0】			

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成31年度 科目ナンバリング分類表 (情報工学課程, 情報工学専攻, 設計工学専攻)

大分類 IS 情報工学課程

大分類 IS 情報工学専攻

大分類 ED 設計工学専攻

学士課程 4年	修士課程 2年	博士課程 3年
3	3	3

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000	
1. 情報工学基礎・実習	1. プロジェクト実習・実験	情報工学セミナー【0】		プロジェクト実習Ⅰ【0】	プロジェクト実習Ⅱ【0】	プロジェクト実習Ⅲ【0】	卒業研究【0】	設計工学特別演習Ⅰ【0】	
		地域課題導入セミナー【0】			地域創生課題セミナーⅡ【0】	地域創生課題セミナーⅠ【0】	卒業プロジェクト【0】	設計工学特別演習Ⅱ【0】	
					ものづくりインターンシップⅡ【0】	ものづくりインターンシップⅠ【0】		研究指導【2】	
					ものづくりインターンシップⅢ【0】				
	2. プログラミング・アルゴリズム	情報工学概論【0】		プログラミングⅡ【0】	プログラミングⅠ【0】	システム最適化【0】			
				ソフトウェア演習Ⅱ【0】	データ構造とアルゴリズム【0】				
					ソフトウェア演習Ⅰ【0】				
					情報システムプログラミング【0】	ネットワークプログラミング【0】	言語処理プログラミング【0】		
					離散数学【0】				
2. ハードウェア	1. 電気・電子回路				エレクトロニクス【0】				
					デジタル電子回路【0】				
	2. コンピューターアーキテクチャ		論理設計【0】	コンピュータシステム【0】		コンピュータシステム特論【2】		情報基盤工学【2】	
3. ソフトウェア	1. ソフトウェア開発		ソフトウェア工学【0】	組み込みシステム設計論【0】			ソフトウェアメトリクス論【2】	情報システム開発方法論【2】	
	2. ソフトウェア基礎				コンパイラ【0】	オペレーティングシステム【0】			
						プログラミング言語論【0】		オペレーティングシステム特論【2】	
	3. メディアインタラクション				データベース【0】			ビックデータ管理論【2】	
					ヒューマンインタフェース【0】				
					知能工学【0】			情報行動論【2】	
4. 通信・システム	1. 情報・ネットワーク		情報理論【0】	情報セキュリティ【0】	情報ネットワーク【0】		情報ネットワーク特論【2】	情報数学特論【2】	
	2. システム・制御						情報伝送システム論【2】		
					システム論【0】	制御工学【0】			
	3. 信号処理								
					デジタル信号処理【0】	画像工学【0】	パターン認識【0】		
								コンピュータビジョン【2】	応用情報工学【2】
						IoTプロセッシング特論【2】			

留意事項・括弧書きの科目は学域専門基礎科目であり、SB(専門基礎科目の大分類コード)から始まるナンバリングが適用される。

※【 】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成31年度 科目ナンバリング分類表（機械工学課程，機械物理学専攻，機械設計学専攻，設計工学専攻分）

大分類 ME 機械工学課程

大分類 MP 機械物理学専攻, MD 機械設計学専攻

大分類 ED 設計工学専攻

学士課程 4年

修士課程 2年

博士課程 3年

3

×

3

×

3

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000
1. 研究系	1. 研究系	地域課題導入セミナー【0】		地域創生課題セミナーⅡ【0】 ものづくりインターンシップⅡ【0】 ものづくりインターンシップⅢ【0】	地域創生課題セミナーⅠ【0】 ものづくりインターンシップⅠ【0】	卒業研究【0】 卒業論文【0】 卒業プロジェクト【0】	プロジェクトマネジメント(MP)【0】 機械物理学特別実験及び演習Ⅰ(MP)【0】 機械物理学特別実験及び演習Ⅱ(MP)【0】 機械物理学特別実験及び演習Ⅲ(MP)【0】 機械物理学特別実験及び演習Ⅳ(MP)【0】 機械設計学特別実験及び演習Ⅰ(MD)【0】 機械設計学特別実験及び演習Ⅱ(MD)【0】 機械設計学特別実験及び演習Ⅲ(MD)【0】 機械設計学特別実験及び演習Ⅳ(MD)【0】 特別課題実験及び演習Ⅰ(MP,MD)【0】 特別課題実験及び演習Ⅱ(MP,MD)【0】 特別課題実験及び演習Ⅲ(MP,MD)【0】 特別課題実験及び演習Ⅳ(MP,MD)【0】 特別研究(MP,MD)【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅰ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅱ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅲ【2】 国際科学技術特別実験及び演習Ⅳ【2】 国際インターンシップ【2】	設計工学特別演習Ⅰ【0】 設計工学特別演習Ⅱ【0】 研究指導【2】 国際科学技術特別演習Ⅰ【2】 国際科学技術特別演習Ⅱ【2】
		2. 機械工学リテラシー	エンジニアのためのリテラシー【0】					
2. 機械設計・実験・シミュレーション系	1. 実験系			機械工学実験Ⅰ【0】	機械工学実験Ⅱ【0】			設計工学インターンシップⅠ【0】 設計工学インターンシップⅡ【0】
	2. 設計・製図			機械製図法Ⅰ【0】 機械設計学【0】	機械製図法Ⅱ【0】 機械設計学【0】	応用機械設計【0】 創造設計製図演習【0】		
	3. 工業力学			工業力学Ⅰ【0】	工業力学Ⅱ【0】			
	4. 計算力学			ソフトウェア演習【0】	コンピュータシミュレーション基礎学【0】	計算力学【0】		
3. 熱・流体力学	1. 流体力学			流体力学Ⅱ及び演習【0】	流体力学Ⅰ及び演習【0】	流体力学Ⅲ【0】		計算流体論【2】
	2. 熱力学			熱力学Ⅰ及び演習【0】	熱力学Ⅱ及び演習【0】	熱エネルギー-輸送現象【0】 熱力学Ⅲ【0】		エネルギーシステム論【2】
4. 材料・加工学	1. 材料力学			材料力学Ⅱ及び演習【0】	材料力学Ⅰ及び演習【0】	機械構造解析学【0】 材料力学Ⅲ【0】		要素強度評価学【2】
	2. 工業材料学			工業材料学【0】		材料強度学【0】 塑性力学【0】		機械材料強度論【2】
	3. 加工学			機械加工法及び実習【0】	材料加工プロセス【0】	切削・研削加工学【0】 塑性加工学【0】 特殊加工学【0】		機械材料加工論【2】
5. 計測・制御工学	1. 機械力学			機械力学Ⅰ及び演習【0】	機械力学Ⅱ及び演習【0】	防振システム工学【0】 機械力学Ⅲ【0】		振動力学【2】
	2. 計測工学				計測基礎学【0】	工業計測法【0】		エネルギーシステム論(重複)【2】
	3. 制御工学				システム制御理論【0】	ロボティクス【0】 最適制御システム【0】 計画工学【0】		システム制御論【2】

※【】の中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成31年度 科目ナンバリング分類表 (デザイン・建築学課程, デザイン学専攻, 建築学専攻分)

大分県 DA デザイン・建築学課程				大分県 AR 建築学専攻 DSデザイン学専攻				大分県 AR 建築学専攻 DSデザイン学専攻				大分県 ED 設計工学専攻			
学士課程 4年				修士課程 2年				博士課程 3年				博士課程 3年			
中分類名称	小分類名称	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000	8000	9000	10000	11000	12000	13000	14000
1. 総合	1. 基礎		基礎科目	基礎科目	基礎科目										
	2. 専修														
	3. 研究														
	4. 卒業														
2. 建築学	1. 建築学		建築学	建築学	建築学										
	2. 建築史		建築史	建築史	建築史										
	3. 建築論		建築論	建築論	建築論										
	4. 建築実習		建築実習	建築実習	建築実習										
3. デザイン	1. デザイン		デザイン	デザイン	デザイン										
	2. 建築設計		建築設計	建築設計	建築設計										
	3. 建築実習		建築実習	建築実習	建築実習										
	4. 建築実習		建築実習	建築実習	建築実習										
4. デザイン実習	1. デザイン実習		デザイン実習	デザイン実習	デザイン実習										
	2. 建築設計		建築設計	建築設計	建築設計										
	3. 建築実習		建築実習	建築実習	建築実習										
	4. 建築実習		建築実習	建築実習	建築実習										
5. デザイン理論	1. デザイン理論		デザイン理論	デザイン理論	デザイン理論										
	2. 建築史		建築史	建築史	建築史										
	3. 建築論		建築論	建築論	建築論										
	4. 建築実習		建築実習	建築実習	建築実習										
6. デザイン実習	1. デザイン実習		デザイン実習	デザイン実習	デザイン実習										
	2. 建築設計		建築設計	建築設計	建築設計										
	3. 建築実習		建築実習	建築実習	建築実習										
	4. 建築実習		建築実習	建築実習	建築実習										
7. エンジニアリング	1. エンジニアリング		エンジニアリング	エンジニアリング	エンジニアリング										
	2. 建築設計		建築設計	建築設計	建築設計										
	3. 建築実習		建築実習	建築実習	建築実習										
	4. 建築実習		建築実習	建築実習	建築実習										
8. マネジメント	1. マネジメント		マネジメント	マネジメント	マネジメント										
	2. 建築設計		建築設計	建築設計	建築設計										
	3. 建築実習		建築実習	建築実習	建築実習										
	4. 建築実習		建築実習	建築実習	建築実習										

備考事項: 1. 科目番号は、科目ナンバリング分類表の「科目ナンバリング」の欄に記載されています。
 2. 二桁の数字は、専攻または学域のコードを示しています。
 3. 【】の中の数字は、専攻コードの数字を示します。(大学に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の科目番号は、1の数字で示され、2の数字は英語で示され、3の数字は日本語で示されます。)

0. 日本語で行われる
 1. 英語で行われる
 2. 英語で行われるが、日本語または英語で行われる授業(状況に応じて使用言語を変更する)
 3. 英語以外の外国語で行われる
 4. その他(例えば受講に応じて日本語またはドイツ語で行われるなど)

平成31年度 科目ナンバリング分類表 (バイオベースマテリアル学専攻)

大分類 なし

大分類 BM バイオベースマテリアル学専攻

大分類 BM バイオベースマテリアル学専攻

学士課程 4年

修士課程 2年

博士課程 3年

3

x

3

x

3

中分類名称 コード	小分類名称 コード	1000		2000		3000		4000		5000		6000		7000	
1. 実習	1. スタートアップ											スタートアップセミナー【2】	スタートアップセミナー【2】		
	2. セミナー											バイオベースマテリアル学国際セミナー【1】	バイオベースマテリアル学セミナー【0】		
	3. インターンシップ											産学連携セミナー【0】			
	4. 実験・演習											バイオベースマテリアル学インターンシップ I【0】	バイオベースマテリアル学インターンシップ II【0】	バイオベースマテリアル学インターンシップ III【0】	バイオベースマテリアル学インターンシップ IV【0】
												国際インターンシップ【1】			
												バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 I【0】	バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 II【0】	バイオベースマテリアル学特別演習 I【0】	
												バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 III【0】	バイオベースマテリアル学特別実験及び演習 IV【0】	バイオベースマテリアル学特別演習 II【0】	
												特別研究【2】		研究指導【2】	
												国際科学技術特別実験及び演習 I【2】	国際科学技術特別実験及び演習 II【2】	国際科学技術特別実験及び演習 I【2】	
												国際科学技術特別実験及び演習 III【2】	国際科学技術特別実験及び演習 IV【2】	国際科学技術特別実験及び演習 II【2】	
2. バイオベースマテリアル 化学	1. 高分子化学										バイオベースポリマー【2】				バイオベースマテリアル化学【2】
	2. 立体化学										生体分子立体化学【2】				
	3. 医用材料										バイオメディカル化学【2】				
	4. 色彩科学										バイオカラーサイエンス【2】				
3. バイオベースマテリアル 材料学	1. 多糖系材料										バイオ機能材料【2】				材料機能制御学【2】
	2. ナノ構造									ナノ材料構造【2】	ナノ材料物性【2】				材料機能構造相関【2】
	3. ナノ繊維形成									バイオナノファイバー【2】					ケモバイオロジー【2】
										テキスタイルサイエンス I【2】					ナノファイバーテクノロジー【2】
4. バイオベースマテリアル 生物工学	1. バイオリファイナ リー									生物資源システム工学-【2】	環境資源科学【2】				
	2. 動物系機能物質												タンパク質機能構造【0】		応用タンパク質工学【2】
	3. 植物系機能物質												植物機能工学【0】		

留意事項1. 【 】中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)
2. 下線を付した科目については、前後学期に同一の科目を開講しているもの。

- 0: 日本語で行う授業
- 1: 英語で行う授業
- 2: 受講者に応じて日本語または英語で行う授業(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3: 英語以外の外国語で行う授業
- 4: その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成31年度 科目ナンバリング分類表（教職関係科目分）

大分類 TP 教職関係科目

学士課程 4年

4

中分類名称 コード	小分類名称 コード	9000		
1. 教職の意義等			現代教師論【0】	
2. 教育の基礎理論	1. 教育の理念・歴史・思想	教育原論【0】		
	2. 生徒の心身の発達と学習の過程		教育心理学【0】	
	3. 教育に関する社会・制度及び経営的事項	教育社会学【0】		
	4. 特別の支援を必要とする生徒に対する理解		特別支援教育【0】	
3. 教育課程及び指導法	1. 教育課程の意義及び編成の方法	教育課程論【0】		
	2. 各教科の指導法	数学教育法ⅠA【0】	数学教育法ⅠB【0】	
		数学教育法ⅡA【0】	数学教育法ⅡB【0】	
		理科教育法ⅠA【0】	理科教育法ⅠB【0】	
		理科教育法ⅡA【0】	理科教育法ⅡB【0】	
		情報教育法Ⅰ【0】	情報教育法Ⅱ【0】	
		工業教育法【0】		
	3. 道徳の指導法		道徳教育の理論と実践【0】	
	4. 特別活動の指導法			
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法【0】		
5. 教育の方法及び技術		教育方法論【0】		
		視聴覚教育概説【0】		
4. 生徒指導・教育相談・進路指導等	1. 生徒指導の理論・方法	生徒指導【0】		
	2. 教育相談・進路指導の理論・方法	教育相談・進路指導論【0】		
5. 演習・実習	1. 演習		教育実践演習(中・高)【0】	
	2. 実習	教育実習Ⅰ【0】		
		教育実習Ⅱ【0】		
6. 教科に関する科目(工業)	1. 職業指導	教育実習Ⅲ【0】		
		職業指導Ⅰ【0】	職業指導Ⅱ【0】	

※【 】中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0:日本語で行う授業
- 1:英語で行う授業
- 2:受講者に応じて日本語または英語で行う授業
(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3:英語以外の外国語で行う授業
- 4:その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)

平成31年度 科目ナンバリング分類表（学芸員資格科目分）

大分類 CU 学芸員資格科目

学士課程 4年

4

中分類名称 コード	小分類名称 コード	9000	
1. 学芸員資格に必要な科目	1. 生涯学習及び社会教育の意義・特性等	生涯学習概論【0】	
	2. 博物館に関する基礎	(博物館概論)	
	3. 博物館の管理・経営	博物館学Ⅰ【0】	
	4. 博物館の資料	(文化財学)	
	5. 博物館資料の保存	文化財保存科学【0】	
	6. 博物館の展示機能		博物館学Ⅱ【0】
7. 博物館教育の理論・実践と方法	教育学概論【0】		
		博物館教育論【0】	
8. 博物館の情報の提供・活用等		博物館情報・メディア論【0】	
9. 博物館の実習	博物館実習【0】		
2. その他		(デザインマネジメント)	
		(京の産業技術史)	

留意事項・括弧書きの科目は人間教養科目または課程専門科目であり、元の大分類から始まるナンバリングが適用される。

※【 】中の数字は、言語コードの案を示します。(大学院に設置されている国際科学技術コースに対応した科目の言語コードは、1の「英語で行う授業」もしくは、2の「受講者に応じて日本語または英語で行う授業」となります。)

- 0:日本語で行う授業
- 1:英語で行う授業
- 2:受講者に応じて日本語または英語で行う授業
(状況に応じて使用言語を変更する)
- 3:英語以外の外国語で行う授業
- 4:その他(例えば受講者に応じて日本語またはドイツ語で行う授業など)